

～ みんなで考えよう！ 協治（ガバナンス）によるまちづくりのルール ～  
**『 協治（ガバナンス）と条例を考える区民懇談会 』 の実施について**

1. 目的

- ・ 委員会委員以外の区民にも条例の検討過程に参加してもらうため、「中間のまとめ骨子案」取りまとめの段階において、幅広く区民参加・普及啓発の取り組みを行った。

2. 広報並びに呼びかけ方法

- ・ 広報紙「区のお知らせ」、区ホームページに掲載
- ・ 6ページのとおり、お知らせチラシを作成し、各公共施設及び窓口などに配架のほか、「すみだやさしいまち宣言推進協議会」委員などに案内送付

3. 実施日時・場所

日時		場所
第1回	平成21年7月13日(月) 19:00～21:10	曳舟文化センター レクホールB
第2回	7月15日(水) 19:00～21:00	すみだ産業会館 会議室4
第3回	7月17日(金) 19:00～21:05	墨田区役所 12階 121会議室

4. 実施内容(各回とも同じ内容にて実施)

① 開会

- ・ 検討委員会委員より、あいさつ

② 協治（ガバナンス）と条例づくりについて

- ・ 協治（ガバナンス）の必要性・背景について、DVD（「協治ガイドビデオ」）放映
- ・ 条例の必要性、これまでの条例の検討過程、「中間のまとめ骨子案」の内容などを検討委員会委員が説明

③ 懇談会

- ・ 3グループに分かれて着席した参加者及び検討委員会委員が懇談（参加者からの意見・質問・提案、検討委員会委員との意見交換など）

④ グループ発表

- ・ 各グループより、意見・提案等の概要を発表

⑤ 最後に

- ・ 今後の条例検討の予定、アンケートの回収など



5. 参加者数

	一般参加者	検討委員会委員出席者数（出席者名）	事務局等	参加者計
第1回	28名	7名(保井、小川、五月女、須貝、瀧澤、中川、七岡)	9名	44名
第2回	20名	5名(木内、小川、末富、須貝、瀧澤)	11名	36名
第3回	39名	5名(谷本、阿部、末富、瀧澤、田中)	9名	53名
	87名	17名	29名	133名

## 6. 参加者からの意見まとめ

- ・ 懇談会に際しての「参加者からの意見まとめ」については、資料2のとおりであり、その趣旨を可能な限り、中間のまとめに活かすこととする。
- ・ なお、その際の「アンケート結果の概要」は、以下のとおり。

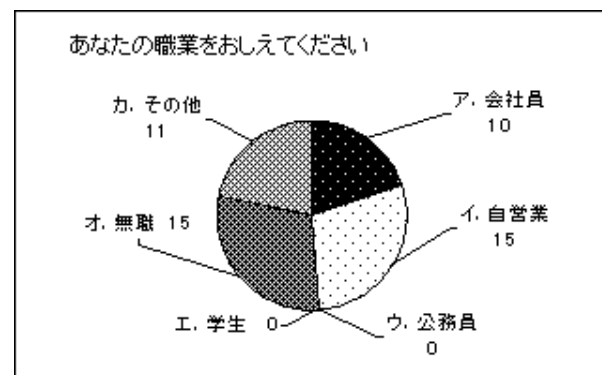
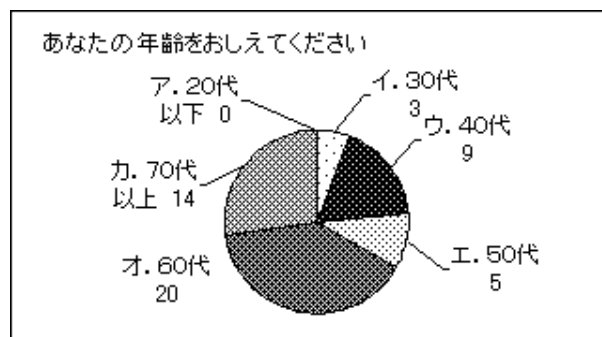
## 7. アンケート結果の概要（回収数 51）

Q1. あなたの属性をおしえてください。

(性別)	ア. 男性	34
	イ. 女性	17

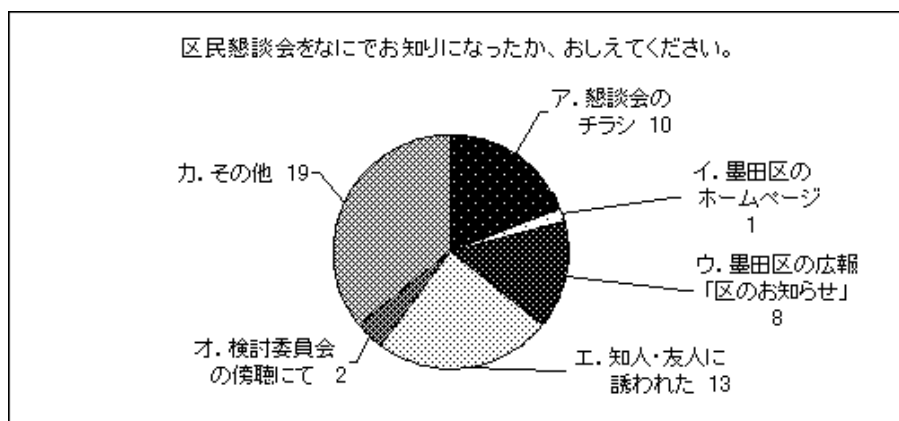
(年代)	ア. 20代以下	0
	イ. 30代	3
	ウ. 40代	9
	エ. 50代	5
	オ. 60代	20
	カ. 70代以上	14

(職業)	ア. 会社員	10
	イ. 自営業	15
	ウ. 公務員	0
	エ. 学生	0
	オ. 無職	15
	カ. その他	11



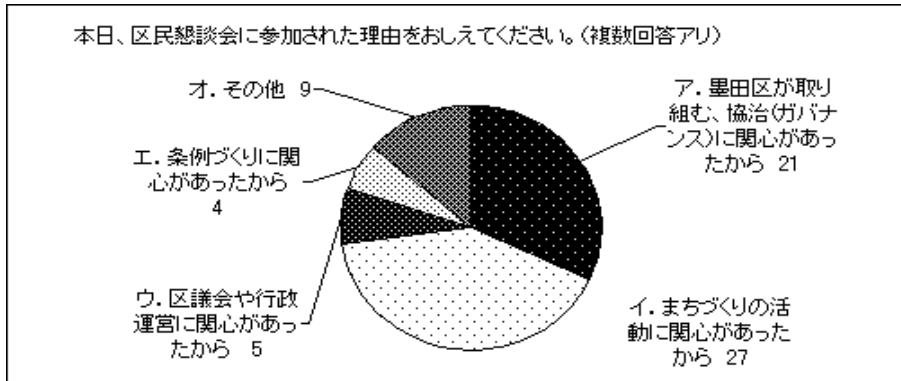
Q2. 区民懇談会をなにでお知りになったか、おしえてください。

ア. 懇談会のチラシ	10
イ. 墨田区のホームページ	1
ウ. 墨田区の広報「区のお知らせ」	8
エ. 知人・友人に誘われた	13
オ. 検討委員会の傍聴にて	2
カ. その他	19



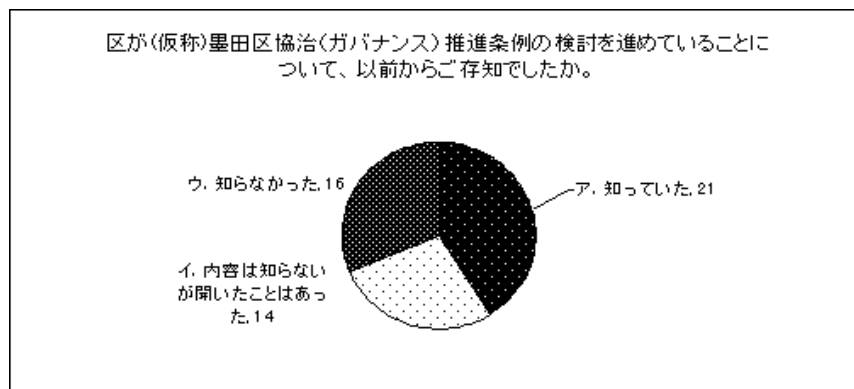
Q3. 本日、区民懇談会に参加された理由をおしえてください。(複数回答アリ)

ア. 墨田区が取り組む、協治(ガバナンス)に関心があったから	21
イ. まちづくりの活動に関心があったから	27
ウ. 区議会や行政運営に関心があったから	5
エ. 条例づくりに関心があったから	4
オ. その他	9



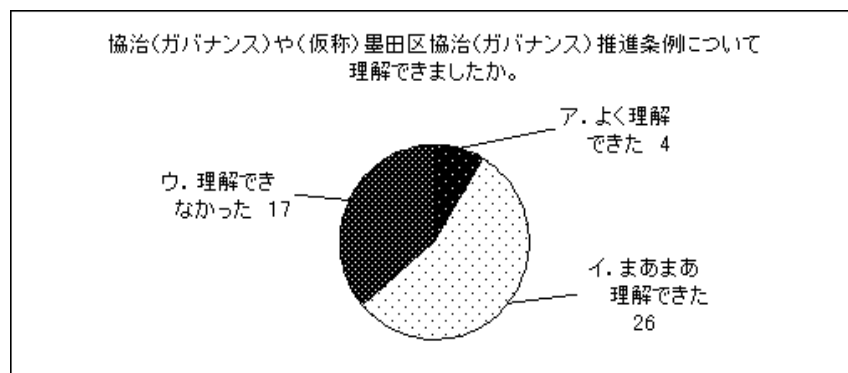
Q4. 区が(仮称)墨田区協治(ガバナンス)推進条例の検討を進めていることについて、以前からご存知でしたか。

ア. 知っていた	21
イ. 内容は知らないが聞いたことはあった	14
ウ. 知らなかった	16



Q5. 協治(ガバナンス)や(仮称)墨田区協治(ガバナンス)推進条例について理解できましたか。

ア. よく理解できた	4
イ. まあまあ理解できた	26
ウ. 理解できなかった	17



Q6. 本日の区民懇談会の感想など、ご自由に記入ください。

- ・なぜ、条例を作らなければならないかわかった。ただ、協治ということはわからない。
- ・ガバナンス条例の基本理念を理解しているとは言い難い雰囲気だった。
- ・ガバナンスの理解が出来ない。
- ・事前に推進条例（中間の骨子案）を知る機会が必要だった。
- ・事前の知識がないまま出席した。
- ・よくわからなかった。
- ・旧五吾小の跡地を有効利用することで、地域プラザガバナンスを公募で参加している。今回6回になる会議を始めて知った。地域プラザと同時に条例を行う必要がある。
- ・色々な意見がでたが、焦点がしぼりきれず話が深まらなかったように思う。私のテーブルは同じ町会の人が多く、五吾の跡地利用の現状とごっちゃになってしまっていた。この会の主旨そのものが、周知されていなかったのではないか。会の進行について、夜の会なので定時に終わらせてほしい。
- ・グループ討議にする必要はなかったと思う。
- ・ガバナンスの言葉を使わないほうが良い。協働自治ではどうか。協治の後、意見がどれくらい取り上げられるのか？パブリックコメントがなされた後、その意見が取り消されないように願う。
- ・ガバナンスの発想で、昔から地域でやってきた。
- ・全般的に理解が進んだと思う。今回の出席者は墨田区の平均年齢よりかなり高いほうであり、もう少し若い人が参加できる工夫を望む。
- ・官民とよく話し合いの席を設けることが、区を良くする一歩だと思う。
- ・初めて出席したが、たくさんの方のご意見や考え方を聞かせていただき勉強になった。色々勉強をさせていただきながら、自分なりの考え方や意見をまとめていきたいと思った。
- ・これからの墨田の仕組みが大きく変わっていくような気がした。「協治」が理解されていくと、良い町すみだが出来上がるのではと感じた。
- ・皆さんの意見がよかった。今後の進行が楽しみ。若い方たちの参加協力を願いたい。
- ・良かったと思います。またの機会を楽しみにしています。
- ・内容を知らずに参加した。自分の住む区のことなので、わかるまで出来る限り参加してみたいし、いろいろな事に参加して、話を聞いてみたいと思った。
- ・もっと、理解したい。
- ・これから勉強し、協力したいと思う。
- ・区民懇談会の目的をもっとはっきりさせ、関心のある人たちにこれだけ集まってもらっているのだから、内容の充実した懇談会にしてほしい。忙しい中、参加した意味が感じられなかった。
- ・町会のあり方、別の言葉で言うと、町会の近代化が必要であると痛感した。
- ・議会や行政の気持ちは理解するが、やる気のある民間人は、町会やボランティア等で既にまちづくりをやっている。その気持ちと区政の大きさとの差が大きすぎるのではないか。

- ・なぜ、地域プラザの設置に至ったのか、理解できない方が多かった。「区の方針の押し付け？」という意見もあった。十分な話し合いが必要と感じた。
- ・条例の前に、実行してみることが先なのでは。
- ・住民が理解できる文章を条文にどう生かすかが、重要である。
- ・短い時間の中で、濃密な議論がされていると感じた。
- ・条例の必要性はわかるし、作る時期になっているのかもしれないが、知らせる力・つなげる力を役人が十分に理解しているとは思えない状況で、これでよいのかという不安が増大した。
- ・意見はたくさん出された。それぞれの立場での意見には頷きが多かった。懇談会出席者にご苦勞様代（1000円くらい）をだしてほしい。

## 8. 区民懇談会の模様(写真)

